

教育相談

【第3回】

教育相談とカウンセリング

新島学園短期大学

櫻本 和也

★前回の振り返り☆

➤ パーソナリティ理論を通して自らの対人関係における特徴は何だったか

（CP低い？NP高い？FCとACのバランスは？）

➤ 心理検査等の結果について、日常生活から意識して行動することが肝要！

☆今回のポイント・到達目標！☆

- 「教育相談とは」また「カウンセリングとは」という問いに関して、その成り立ちと目的について説明できるようになる



教育現場が抱える様々な問題に対して

- 適切な対応力がある園や学校、保育者や教師に出会えるかどうか...

➡ **子どもの人生に大きな影響を与える**

- 『十分な知識』と『実践的な対応力』を身につけることが必須

教育相談の基礎知識

1950年代～1980年代

- 学校で教師が行うカウンセリング活動のみ
(校務分掌の業務として教育相談の担当者が実施)

1990年代～

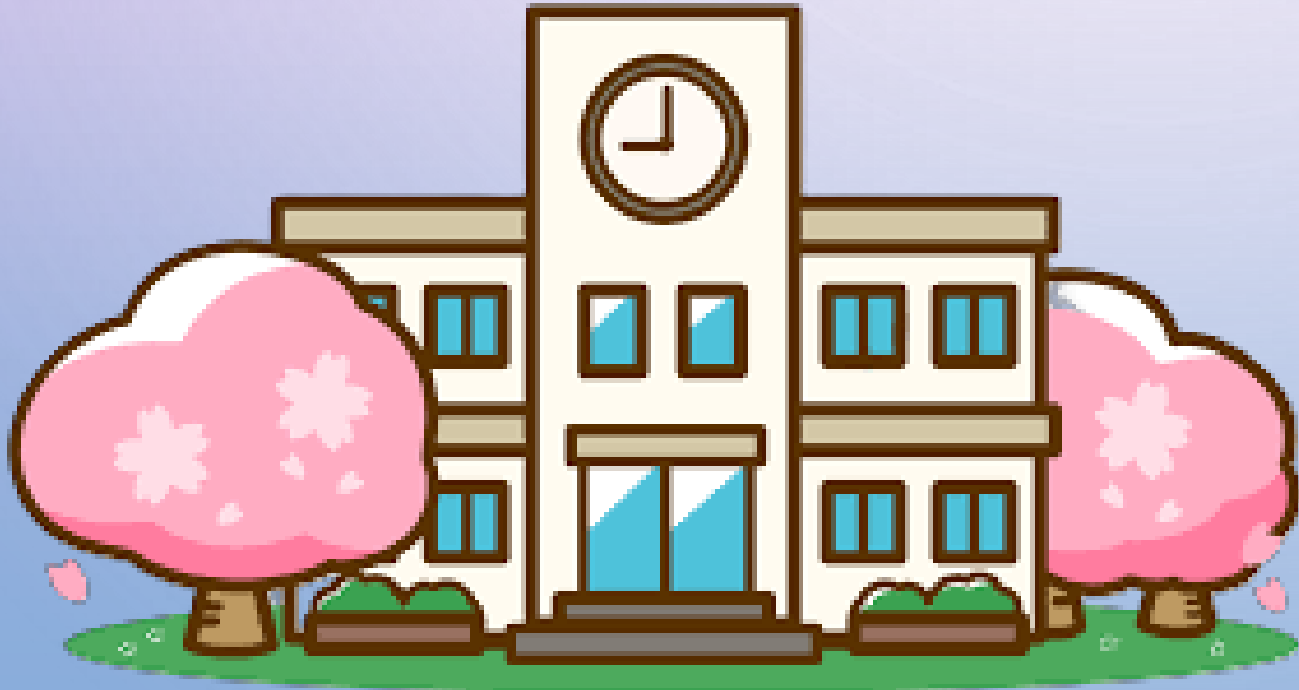
- 学校教育相談
借り物のカウンセリング活動を示すものではなく、
学校教育における相談活動

学校教育相談とは

- プロモーション活動
- カウンセリング活動
- 統合活動

プロモーション活動とは

- 問題が生じた子どもに対して、教師が個別に対応
- 話を聴き、支える環境づくりを意味



カウンセリング活動とは

- ①カウンセリング：個別の面接
- ②ガイダンス：予防教育・対処能力を高める開発的教育
- ③コンサルテーション：問題に直接的に関わる人間に対して
助言等でサポートする行為
- ④コーディネーション：子どもや保護者に外部機関を紹介・
教師同士の連携仲介

統合活動とは

- 「プロモーション活動」や「カウンセリング活動」を学校に定着させる活動
- それらが巧く機能しているかどうかを捉える活動

教育相談の機能

- 開発的教育相談
- 予防的教育相談
- 問題解決的教育相談

開発的教育相談とは

- 対象：全ての子ども達
- 場面：道徳や日常/特別活動において
- 目的：学習/社会的スキルを育む
- 結果：自己肯定感/道徳性の向上
- 誰が：担任や授業担当の教師

予防的教育相談とは

- 対象：傾向/気になる子どもたち
- 場面：日常生活のSOS/アンケート調査
- 目的：問題が生じることを未然に防ぐ
- 結果：問題が深刻化することを防ぐ
- 誰が：担任や学年主任/養護教諭やSC

問題解決的教育相談とは

- 対象：問題が生じた本人・周囲・家族
- 場面：いじめ/不登校/非行/虐待/発達障害
- 目的：問題を抱えた当事者への支援活動
- 結果：重大な問題への解決の糸口
- 誰が：担任や管理職/養護教諭やSC/警察

“カウンセリング” ってなに??

カウンセリングとは

- クライエントが自己理解を深め，自らの力で建設的な意思決定を行うこと
- 自発的な行動がとれることを目指す

悩み・問題を・・・
解決したい！



クライアント

援助要請

援助



セラピスト

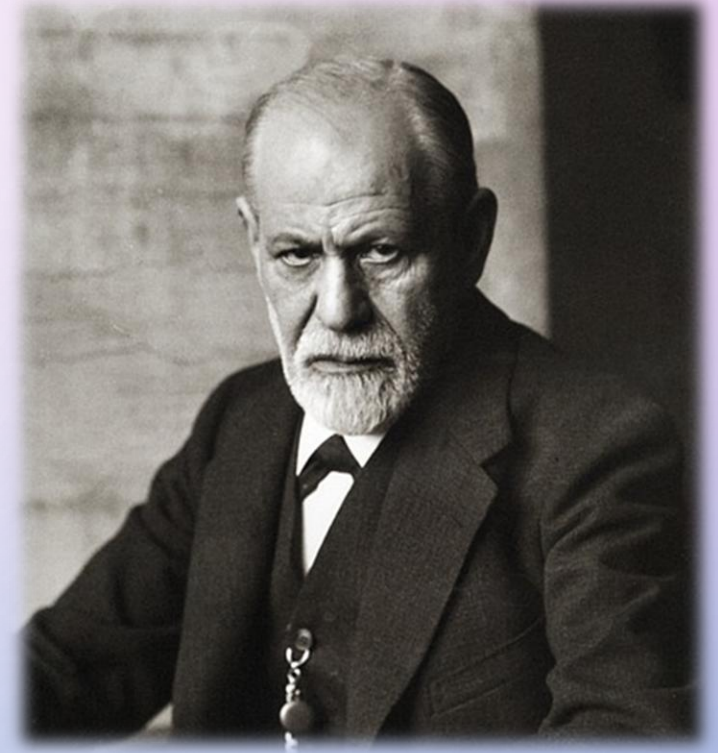
社会

フロイト —精神分析学—

- オーストリアの精神分析家
- 精神分析学の創始者



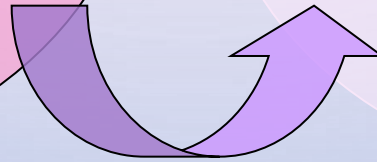
現代のカウンセリングに多大な影響を与えた



ヒステリー研究

患者の無意識下の
記憶が思い出される

ヒステリー症状の
軽減・消失



無意識領域を意識化
精神分析学のモデルが構築

自由連想法

- 催眠に代わる技法として開発
- 患者に自由に話をさせる
- 連想されたもの，言語化された内容を分析・解釈



夢について語る
頻度が多い

夢への注目・気づき

夢判断・夢分析

- 夢について語るクライアントが多数存在
 - フロイト自身の夢の自己分析
- ⇒臨床心理学の立場から夢を本格的に研究



クライアントの心理を理解する上で、
夢は重要な**“手がり”**

心の構造：前期

心

意識

前意識

無意識

普段の気づけている領域

今はまだ気づけて
いない領域

表に出てきにくい領域

心の構造：後期 “心的装置”の提唱

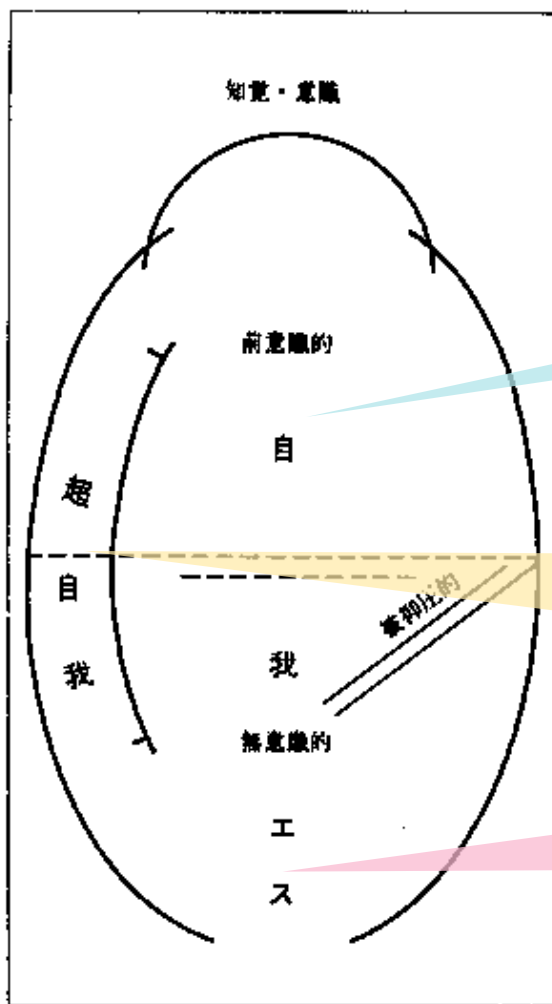


図5 構造論——心的装置（フロイト，1933）⁴¹

エス・超自我・外界との調節機能
「現実原則」に従い機能

道徳性の根源でエスを抑制
自我が道徳的な方向へ向ける
「理想原則」に従い機能

エネルギーの塊
「快楽原則」に従い機能

ロジャーズ：クライアント中心療法

- **ロジャーズ**：アメリカの心理学者
- **クライアント（来談者）中心療法**の創始者
- クライエントの持つ **自己実現傾向**を強調

クライアント自身が...

『何が問題になっているか』そして『どの様に解決すべきか』に関して、最もよく知っている

患者からクライアントへ

- ・被治療者の呼び名を変更

“患者 (PATIENT)”

“クライアント (CLIENT)”



- ・クライアントの持つ自己実現傾向を強調

➡ カウンセラーとクライアントとの関係は対等

従来の心理療法とロジャーズの相違点

- 従来の心理療法

指示を与える指示的な療法

- ロジャーズの心理療法

指示を与えない非指示的な療法

非指示的精神療法からクライアント中心療法へ

- 当初、ロジャーズの心理療法は
“非指示的精神療法”と呼ばれた
- 後に、ロジャーズは自らの立場を
クライアント中心療法と命名

カウンセリングとは

- クライエントが自己理解を深め、**自らの力で建設的な意思決定**を行うこと
- **自発的な行動**がとれることを目指す

悩み・問題を・・・
解決したい！



クライアント

援助要請

援助



セラピスト

社会

☆今日の振り返り！☆

- 学校教育相談（プロモーション・カウンセリング・統合）
- 教育相談の機能（開発的・予防的・問題解決的）
- クライアント自身の力へアプローチするカウンセリング
- フロイト, ロジャーズなどによるカウンセリング